

①活動概要

R185さざなみ海道は、自然・歴史・文化に恵まれた国道185号沿線を舞台に地域をつなぎ、より魅力ある地域の形成していく事、沿線4市（呉市・東広島市・竹原市・三原市）の広域連携の中で地域住民が主体となった街づくりを通して、自分たちの街の美しさなどの再認識・再発見をすること、また、内外に地域の情報発信を行うことを目的として活動を行っている。

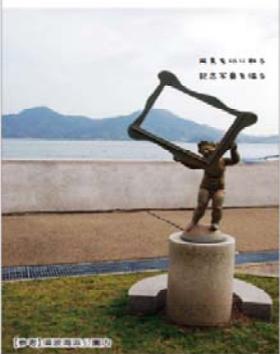
平成20年度は、日本風景街道に登録されていることの周知や、地域の美しさを再認識してもらうための道標(案内看板)設置検討ワークショップを開催、今ある周辺の観光・地域資源を今後の活動に反映させるための現地調査及び町内外の方にR185の愛称、沿線の好きな場所等のアンケート調査を実施、H21年度の活動につなげていくこととしている。

②活動の状況

道標設置検討のための現地調査(フィールドワーク)風景



道標の提案

A案	B案	C案
<p>街道標識活用案</p> <p>一般的な仕様の街道標識に対して、ポール部分にイメージカラーを配色し設置。標識下部を活用してR185みちばた会議の各種地域情報を公開する。加算が自由に増減できる仕様にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> □設置コストを削減することができる。 □情報を取り替えることができる。 □自動車・徒歩等それぞれに対応した情報掲載。 	<p>オリジナルデザイン案</p> <p>主に交通結節点や既存の駐車エリアを設置場所として、オリジナルデザインのサインを設置する。ペンチ・触覚・表示板なども配置するが、仕様が軽やかなデザイン風の空間とすることで、情報の受取値の効果を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> □集客場所をつくる。 □歩行者へ(降車して)の情報発信が中心。 □清掃など継続的な管理が必要。 	<p>フォトフレーム案</p> <p>清流海公園内に設置されていた「OMOIDE」がコニクで芸術性もあり高評価であった。海遊館を製作し、沿線の主要スポットにストーリーにそったオブジェの設置を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> □オブジェ設置で沿線のイメージアップ。 □カメラやケータイで撮影する楽しみ。 □設置コストが高い。 



ワークショップ風景



アンケート実施状況



③苦労した点や工夫した点

R185号の愛称、沿線の好きな場所について

【苦労した点】より多くの団体に出席いただくため、会の案内を送付するだけでなく、事務局やキーパーソンが説明しながら、人と人との繋がりを大切に考えて参加者を募った事。

【工夫した点】ワークショップの中で自由に意見を述べてもらうようにしているため、不満等に偏らないよう、時間を有意義に使えるように、ファシリテータと事務局で事前打合せを念入りに行った。

④活動の効果

沿線4市や住民連携を図る取組の中で地域資源の再確認を行う作業の第一歩となった。観光スポットなどを紹介する道標(案内看板)の設置候補地の選定や街道(海道)の愛称募集・検討など、地元住民を中心に活発な議論ができる場となった。

⑤今後の活動

来年度も引き続き道標検討を行い、瀬戸内の豊かな自然風景や地元の人ぞ知る観光スポットなどの情報について詳細に検討し、道標(案内看板)を設置する。ワークショップなどの意見交換をさらに深め沿線地域活性化策を模索する。



「街道名」変更の検討

A案 さざなみ海道

野呂山には「さざなみスカイライン」などの愛称を持つ路線があり、かつ赤良線は「瀬戸内さざなみ線」との愛称をもちいて観光キャンペーンをおこなっている。地域に根付いた「さざなみ」という愛称に注目する意見が多かった。

R185さざなみ海道
芸南路さざなみ海道
などの、バリエーションも検討対象。

問合せ先 竹原市 建設産業部 建設課
電話 0846-22-7746